

## お知らせ

## 通信環境整備事業の実施

コロナウイルス感染拡大に伴う学生の自宅学修に対応するため昨年度より遠隔授業を開始し、学生がソーシャルディスタンスを保ちつつ、学内でも遠隔授業を受講できる体制整備の充実をはかりました。

## ①学内無線LAN設備の更新及び増強工事

グループ毎の実習や対面式学修サポートの利用等、一人ひとりの学修状況により学内から遠隔授業を受講する学生の増加に伴い、「動画配信型講義」や「Web会議システムを使った同時双方向講義」を受講できる環境を整備しました。ネットワークの速度や安定性が重要となるため、無線LAN設備全体の更新と「アクセスポイント」の増設工事を行い、新たな「無線LANコントローラ」を導入、学生が利用するエリアの「アクセスポイント」と「スイッチ」の更新及び増設を行っております。これらにより、遠隔授業の受講環境を拡充し、(コロナ禍における)学修機会を確保しました。

## ②学生が遠隔授業に使用するパソコン端末の増設

マルチメディア教室のパソコン環境の充実のためパソコン(60台)の増設、教育振興会の支援を受けて学生に対する貸出用iPad(100台)の整備を行い、学生がキャンパス内の施設を有意義に利用でき、また遠隔授業を受講できるように支援をいたしました。



## 新型コロナウイルスワクチン職域接種を開始

本学では、学生・教職員等への一日も早い安心安全な教育研究活動の再開と、地域における新型コロナウイルス感染症拡大の防止及びワクチン接種に関する負担軽減を目的に、7月14日から職域接種を始めました。8月30日に2回目接種を完了する予定です。本学での職域接種は附属病院を有する全国的にも数少ない医療系大学としての特色を生かし、看護学科を持つ地元の高等学校、中小企業等と協同し実施しており、附属病院の医師が問診を、ワクチン接種には歯科医師である教員と看護学科教員が担当。ワクチン充填管理には薬剤師免許を有する基礎系教員が関わり、医師の問診補助には鍼灸学科教員が対応するほか、副反応発現時には救急救命学科と柔道整復学科の教員が救護にあたり隣接する附属病院への緊急搬送体制を整えるなど、他に類を見ない全学的協力体制での職域接種を実施しております。



看護学部[看護学科] \* 保健医療学部[救急救命学科・柔道整復学科] \* 鍼灸学部[鍼灸学科]  
大学院[鍼灸学研究所・保健医療学研究所]

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1181 FAX 0771-72-1189 E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



財団法人日本高等教育評価機構より  
大学評価基準を  
満たしていると認定  
されました。

# 明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.21

大学情報誌



学長 矢野 忠

## ご挨拶

本学では繰り返し発出される緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により、大学の教育活動は大きな影響を受け、令和元年の卒業式、令和2年度の入学式および卒業式、そして令和3年度の入学式をいずれも短縮せざるを得ませんでした。また予定された多くの大学行事の中止、学外実習の中止及び削減、スポーツ競技大会の中止など、様々な教育活動を制限せざるを得ませんでした。こうした中で最も大きく影響を受けたのは学生であったと思います。

しかし、こうした状況に翻弄されるだけでは何も生まれず、事態はより深刻化するだけです。本学は、波状的に押し寄せるCOVID-19の感染状況に応じて、感染防止に努めながら対面授業と遠隔授業によるハイブリッド型授業を早々に導入し、可能な限り対面授業を通して学生との交流を進めてまいりました。幸いにも学生の理解と協力により、これまでのところ学内においてクラスターの発生はありませんでした。大学として医療系学生の意識の高さに感謝しています。

COVID-19の感染拡大は深刻さを増していますが、本学はこの苦境を前向きにとらえ、ポストコロナも見据え、従来の大学教育の殻から脱皮すべき、検討を進めています。その一端として学部横断的教育と各学科における組織的教育の実践に取りかかっています。また授業形式については、遠隔授業の利活用、アクティブラーニングや反転授業の導入など、学修者目線に立った教育実践に取り組んでいます。

いずれにしてもCOVID-19のパンデミックに象徴されるように、予測困難で不確実な時代がこれからも続きます。こうした時代を生き抜くには、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。」(ダーウィンの格言とされている)に示されているように、時代の変化に柔軟に対応できる者との指摘は極めて示唆的であり、そうした観点も含め、利他の精神をもち、高潔な倫理観を有する医療人の育成に努めてまいります。

最後になりますが、嬉しい報告をお伝えします。令和4年度に大学院保健医療学研究科(修士課程)に新しく「保健学専攻」を開設することになりました。新設の保健学専攻は4学科すべての学生に門戸が開かれています。概要は「2022年4月大学院保健医療学研究科に保健学専攻を開設」をお読みください。

## 2022年4月 大学院保健医療学研究科に保健学専攻を開設

名称：保健医療学研究科 保健学専攻(修士課程)  
修業年限：2年[長期履修制度(最大3年まで)あり]  
入学定員：8名(収容定員：16名)  
取得学位：修士(保健学)  
開設時期：2022年4月

人材養成の目的：保健学研究に必要な高度な研究能力ならびに専門的な研究成果の実装能力を有する人材養成を行うとともに、保健学の科学研究基盤の拡大と進展への寄与並びに社会に貢献することを目的とする。

修了後の進路：



〈写真部〉鍼灸学科3年 葛本有亮撮影

## 鍼灸学部 鍼灸学科

### 新1年生、新生活スタート!

#### 新入生の授業の様子

鍼灸学部では、今年度 21 名の新入生を迎えました。新型コロナウイルスの影響で登校日が限られている中ですが、新入生は鍼や灸の実技の練習や、大学入学後初めての試験に励むなど、はつらつとした大学生活を送っており、学内は活気に満ちています。

いろいろなことがあった大学生活のスタートでしたが、1年生のクラス委員を務める鳥堂さんに、前期の感想をお聞きすると、「大学生活は勉強は難しいですが、新しい知識を学ぶことは楽しく感じています。」とのことでした。

学生のみなさんが充実した大学生活を送れるよう、教員一同、全力でサポートしていきたいと思えます。

なお、1年生のクラスアドバイザー（担任）は吉田行宏先生と藤井健介先生です。吉田先生はスポーツが専門で、硬式野球部の部長でもあります。藤井先生は柔道整復師の資格も持っていて、去年までは臨床家として活躍していました。



#### アドバイザーから一言



吉田先生

1年生の前半は早く大学生活に慣れるように、学業面だけでなく生活面やメンタル面のフォローをすることを心がけています。常に学生目線に立って対応するように心がけているので、ご安心ください。



藤井先生

大学に入ったからこそ、しっかり遊び、または部活に励んで、大学生活を満喫してほしいと思います。

## 保健医療学部 柔道整復学科

### コロナ禍での実習風景と農業体験学習を通して地域交流

#### 南丹市美山町で農業体験

パンデミックなコロナ禍において、柔道整復学科では感染対策をしながら講義と実習を行っています。

講義においては、ソーシャルディスタンスを維持して、出来る限り対面授業を実施しています。

実習においては、マスクと手指消毒を徹底しながら、クラスを半分に分けて少人数で3密を避ける工夫をしながら行っています。

また大学のある京都府南丹市の自然豊かな立地条件を生かして、美山町で農業体験を実施しています。美山町は京都府のほぼ中央に位置し、大学から30分の場所に位置します。南丹市美山町は、かやぶき民家が代表する伝統的文化や芦生の森が象徴する豊かな自然に恵まれた地域です。

柔道整復学科では、早期体験授業として4年間で学ぶこの南丹市を1年生に知ってもらうことを目的に、美山町で農業体験をおこないました。米作り体験をおこない泥まみれになり、また鶏の解体をとおして、食と命が深く関わっていることを体感し、自然や食べ物への感謝や生命の尊さを学ぶことができ、有意義な実習でした。

由良川水系に入りながら地域の方とコミュニケーションをとり、大学のある南丹市について学ぶ事が出来て、大変喜んでいました。



## 保健医療学部 救急救命学科

### 新たなステージへ

#### 入学定員の増加、新カリキュラムのスタート

本年度から新カリキュラムがスタートし、1年生 82 名（男子 70 名、女子 12 名）が救急救命士への道を歩み始めました。前期の授業では、心配蘇生法や搬送法・応急処置等の救急隊活動の基本となる内容を中心に学習します。9月にはライフセービング実習が予定されており、初めての学外実習に向けて心と体の準備を行っている最中です。

2年生は救急救命士に実施が認められる特定行為の実習を、3年生は傷病者の訴えから病態を鑑別する内因性（急病）対応の実習を行っています。

4年生は就職活動が本格化し、夢を叶えるためにひたむきに毎日過ごしています。キャリア支援センターと学科教員を中心とした就職支援のもと、教養試験・体力試験・面接試験等を合格できるよう、ますます努力を続けていきます。

当科では、新型コロナウイルスの流行を受け、オンラインでの授業の実施や就職支援対策を行ってきました。今年度は新たなカリキュラムも始動し、更なる進化を目指しながら学習を深めていきます！

救急処置実習 A- I から A- IV の各学年の様子。



1年生：規律訓練



2年生：特定行為（静脈路確保）



3年生：内因性（急病）対応



4年生：総合想定訓練

## 看護学部 看護学科

### 学生たちの安心と学びの確保

#### 【看護総合・統合実習】（4年生）

新型コロナウイルスの感染拡大による影響が懸念される状況下ではありますが、学生達が大学教育における最後の実習の学びを深められるように、学生・教員共に感染予防に留意しながら実習を行うことが出来ました。



#### 【新型コロナワクチン接種】（1～4年生）

本学では新型コロナワクチンの摂取を希望する学生に対して実施しました。大学生活においては、授業支援 SNS 「Melly」を用いた学生達とのコミュニケーションツール等を活用し、各学年の担当アドバイザーが学修サポートにも取り組んでいます。



## 大学院修士課程に入学された井口さんにインタビュー！

2021年度に本学大学院修士課程に入学した井口さんに、大学院の半年間を振り返った感想をお聞きました。

「私は他大学の鍼灸学科を卒業後、鍼灸整骨院・訪問鍼灸院に就職し臨床の現場で働いていました。しかし、鍼灸師として臨床・研究・教育を深めたいと感じたので、明治国際医療大学大学院の進学を決め入学しました。再び学生となり、院生の先輩・同級生に良い刺激を受けながら、勉強とお灸を研究テーマに学んでいます。大学院では学部生とは違い、自分でスケジュール管理や優先順位を決め「何を今学ぶか？」を決めなければなりません。それは、社会生活で仕事を進めていくことと同じ事だと実感しています。また、コロナ禍で状況は日々変化することが多いです。けれども、その中でできる事、学ぶ事は数多くあるので2年間、南丹の綺麗な山間の風景を眺めながら学んでいます。」



大学院修士課程新生のみなさん(左から小路さん、井口さん、藤原さん、広瀬さん、井上さん)

井口さん、ありがとうございました。  
みなさんの今後の活躍に期待しています！

## 楽しい大学院生活

本研究科は伝統療法である柔道整復学に関する高度の学術研究により、その深奥を究め、現代の医学レベルに対応する整復術への応用に貢献し、また高度な学識と研究能力を持った人材の養成と、国際社会で活躍し得る研究者の育成を目標としています。保健医療学研究科2期生の村迫萌生さんに、大学院に進んだ理由と大学院生活について聞きました。



## 村迫さんからのコメント

私が柔道整復学科4年生だったころ、「国家試験全員合格」を目標にクラス皆で切磋琢磨していました。同級生が点数に伸び悩んだ時一緒に勉強して、互いに点数がぐんぐんと上がっていき、最終的には二人とも合格することができました。共に喜び、「本当にありがとう」という言葉を聞いたとき、私はずっと憧れていた柔道整復師という職業に、教育という形で携わりたいと思い、接骨院で1年間臨床経験を積んだ後、大学院へ進学しました。大学院生の生活については、学部生の時ほど人数は多くはありませんが、とても親身になってくださる先生方や、声をかけてくれる後輩の学部生たちがいて、院生生活はとても充実しています。特に大学院講義はとても専門性が高く、研究では様々な知識を持った先生方が親切に教えてくださり、確実に研究スキルがアップしていると感じています。教育の面ではティーチングアシスタントという立場で、先生方の講義をサポートしながら、教えることの難しさを体感し、学修支援センターでは学部生の勉強をサポートしながら、自分自身の復習を兼ねて学部生たちと楽しく過ごして、毎日が充実している大学院生活です。

## 女子柔道部 関西学生女子柔道優勝大会 団体5人制で初優勝

2021年5月30日(日)、団体戦の関西インカレにあたる第29回関西学生女子柔道優勝大会が兵庫県尼崎市のペイコム総合体育館で行われました。コロナ禍のため昨年は中止となりましたが、2019年には3人制で大会3連覇を果たし全国も制している女子柔道部は、今回から5人制に移行。1回戦で大阪体育大学に3-0で勝利し勢いに乗ると、続く準決勝で大会5連覇を目指した龍谷大学を激戦の末2-1で破り、決勝も近畿大学に3-0で勝利し、うれしい初出場初優勝を果たしました。これにより6月から秋に順延となった全日本学生柔道優勝大会の5人制、10月に開催が予定されている全日本学生柔道体重別団体優勝大会(7人制)への出場権を獲得しました。

また、7月11日(日)に行われた近畿ジュニア柔道体重別選手権大会の女子48kg級で野崎偉万里選手(救急救命学科2年)が優勝、宮城杏優選手(柔道整復学科2年)が3位、同70kg級で山本楓花選手(柔道整復学科2年)が2位に食い込み、9月に予定されているJOCジュニアオリンピックカップ2021年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会に挑みます。

## ■第29回 関西学生女子柔道優勝大会

＜登録・出場メンバー＞	
林美七海(鍼灸学科4年)	丸山佳代(柔道整復学科4年)
川村幸穂(看護学科3年)	足達実佳(柔道整復学科3年)
新名寧々(柔道整復学科3年)	三谷頼子(柔道整復学科3年)
上田莉佳(鍼灸学科4年)	西村美穂(柔道整復学科3年)



5人制優勝メンバー

宮城・野崎・山本選手

## 女子剣道部 関西女子学生選手権で若林選手がベスト8全国大会出場権獲得

2021年6月6日(日)、延期となっていた第51回関西女子学生剣道選手権大会がエディオンアリーナ大阪(大阪府立体育館)で行われ本学女子剣道部から7人が出場。ルーキーの若林明星選手(看護学科1年)がベスト8に入り、上位16人に与えられる第55回全日本女子学生剣道選手権大会の出場権を獲得しました。

また、7月4日(日)、第37回京都府女子剣道大会個人兼第60回全日本女子剣道選手権大会予選会が京都市の武道センターで行われ、三部(大学生の部)で前嶋咲帆選手(看護学科1年)が優勝と活躍しました。



若林選手

前嶋選手

## 陸上競技部 第37回U20日本陸上競技選手権大会で1年生4選手が入賞

2021年6月24~27日(木~日)に大阪市の長居スタジアムで行われた第37回U20日本陸上競技選手権大会に本学陸上競技部から1年生4選手が出場。野田昂汰選手(救急救命学科1年)が男子ハンマー投で61m25を投げ7位に食い込んだほか、榎野響木選手(看護学科1年)が女子円盤投で41m48をマークし4位、さらに女子ハンマー投では濱口真幸選手(柔道整復学科1年)、杉野樹里海選手(柔道整復学科1年)がそれぞれ53m28、23をスローし4、5位と出場者全員が入賞を果たすなど躍動しました。



野田選手

榎野選手

濱口選手

杉野選手

# 充実した大学生活のための支援を！



会長 伊部 正記

会長就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

一昨年度より、教育振興会の幹事として末席に加わせていただいておりますが、今年度から会長を仰せつかりました伊部正記と申します。

本会教育事業支援につきまして、微力ではございますが教職員の方々や振興会役員の皆様と協力しながら、活動してまいりたいと決意を新たにしております。

さて、私は本学の前身の鍼灸学科を卒業し、資格を取得いたしました。懐かしい丹波・日吉の景色を眺めておりますと実に感慨深いものがございます。また、柔道整復につきましては、本学の姉妹校を卒業しました。母校「明治」には強い思い入れがございます。

本学は、日本で初めての鍼灸の3年制短期大学から4年制の大学としてスタートし、附属病院も有しており、今では3学部4学科を有する保健医療分野の総合大学として発展してきているところです。本学の建学の精神、教学の理念に「和」と「心」が謳われておりますが、まさに真の医療人として重要かつ大切なことだと思います。この素晴らしい大学での学生生活が、さらに充実したものにようになりますように、そして学生の皆さんが誇りをもって巣立っていけるようにと、その支援に取り組んでいきたいと思っております。

どうぞ、教育振興会へのご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

末筆になりましたが、コロナ禍の厳しいご時世でございます。会員の皆様には、ご自愛専一のほどお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

なお、今年度の教育振興会総会の開催の可否につきましては、昨年度同様にコロナ禍の影響により、開催が困難と役員会にて判断致しました。教育振興会規約第9条のただし書きにより、本役員会（令和3年7月18日開催）をもって、総会に代えることいたしましたので、謹んでご報告を申し上げます。ご賢察の上、ご理解賜りますよう重ねてお願いいたします。

## 令和2年度 明治国際医療大学 教育振興会【事業・収支報告】

令和2年4月1日～令和3年3月31日

収入の部		支出の部	
会費	12,610,000	教育・研究活動に関する支援	10,000
新入生 242名	12,100,000	クラス懇談会等支援金	0
新入生(編入) 5名	120,000	海外研修支援金	0
大学院(博士) 15名	300,000	学外研修会支援金	0
大学院(博士) 3名	90,000	資格取得支援金	10,000
受取利息	166	課外活動に関する支援	0
		課外活動支援金	0
		たには祭協賛金	0
		ボランティア活動支援金	0
		福利厚生費に関する支援	948,600
		100円朝食支援金	948,600
		慶弔・見舞金等	0
		学修環境整備に関する支援	7,499,922
		学修環境整備整備費	4,499,922
		学修環境整備積立金	3,000,000
		その他の経費	32,955
		会議費・役員交通費	32,275
		印刷・通信費	680
		事務経費	0
当期収入小計	12,610,166	当期支出小計	8,491,477
前期繰越金	5,315,296	次期繰越金	9,433,985
収入の部合計	17,925,462	支出の部合計	17,925,462

### 【期末預金の内訳】

次期繰越金	9,433,985 円
学修環境整備費積立金	12,000,000 円
計	21,433,985 円

明治国際医療大学教育振興会  
会長 勝原 真一 殿

### 監査所見

令和2年度収支計算について、必要な監査手続きを実施した。監査の結果、その内容は適正に表示されていることを認めます。

令和3年4月16日

監事 川上 賢治  
監事 山岡 一樹

なお、コロナ禍の影響により、当初の事業計画通りに実施することができなかった結果となりましたことを、お詫び申し上げます。

## 令和3年度 明治国際医療大学 教育振興会【役員紹介】

任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日

役員	氏名
会長	正会員（1名） 伊部 正記
副会長（2名）	正会員（1名） 新名 誠
	教職員（1名） 市川 哲
幹事（若干名）	正会員（若干名） 中沢 真佐美、大門 美千代、山田 佳子、田村 裕、金羽 美恵
	教職員（若干名） 河井 正隆、小川 豊清、伊藤 肇敏
会計	正会員（1名） 豊田 和宏
	教職員（1名） 松原 亮二
監事	正会員（1名） 広田 延孝
	教職員（1名） 山岡 一樹

朱字 新規役員

## 令和3年度 明治国際医療大学 教育振興会【事業計画・収支予算】

### 1. 事業計画

(1) 教育・研究活動に関する支援

クラス懇談会等の開催や、海外研修、就職活動および資格取得等を支援

- ①クラス懇談会等の支援（飲食費の一部補助）1,500円×857人
- ②懇親会 BBQ 開催の支援（飲食費の一部補助）1,500円×241人
- ③海外研修の支援（旅費の一部補助）5万円×15人
- ④学外研修会の支援（就職相談会等へのバス運行）15万円
- ⑤資格取得の支援（TOEIC 等受験料の一部補助）2,500円×40人

(2) 課外活動に関する支援

- クラブ活動、ボランティア活動および大学祭等の大学行事への支援
- ①課外活動の支援（部活支援・応援バスの運行等）200万円
- ②たには祭の協賛 50万円
- ③ボランティア活動の支援（交通費・ボランティア保険の一部補助）10万円

(3) 福利厚生に関する支援

健康保持・増進のため100円朝食の提供など、福利厚生を支援  
食育の支援（100円朝食料金の一部補助）

- ①100円朝食 210円×月1,000食×10ヵ月
- ②アスリート食 50円×25日×100食×12ヵ月

(4) 学修環境の整備に関する支援

学修環境充実のための備品、用品および出版物等の整備

(5) その他

- ①役員会・総会の開催（案内状の印刷・発送・会議費等）
- ②役員会および大学行事への出席に伴う交通費の負担
- ③事業計画・収支予算および事業報告・収支決算の公表（印刷・発送）

### 2. 収支予算（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

収入の部		支出の部	
会費	11,460,000	教育・研究活動に関する支援	2,647,000
新入生 220名	11,000,000	クラス懇談会等支援金	1,647,000
新入生(編入) 2名	40,000	海外研修支援金	750,000
大学院(修士) 15名	300,000	学外研修会支援金	150,000
大学院(博士) 4名	120,000	資格取得支援金	100,000
受取利息	100	課外活動に関する支援	2,600,000
		課外活動支援金	2,000,000
		たには祭協賛金	500,000
		ボランティア活動支援金	100,000
		福利厚生費に関する支援	3,700,000
		100円朝食支援金	2,100,000
		アスリート食支援金	1,500,000
		慶弔・見舞金等	100,000
		学修環境整備に関する支援	9,000,000
		学修環境整備整備費	6,000,000
		学修環境整備積立金	3,000,000
		その他の経費	380,000
		会議費・役員交通費	200,000
		印刷・通信費	150,000
		事務経費	30,000
当期収入小計	11,460,100	当期支出小計	18,327,000
前期繰越金	9,433,985	次期繰越金	2,567,085
収入の部合計	20,894,085	支出の部合計	20,894,085